













## 東日本大震災の影響は甚大。景況の悪化は深刻な状況

4月の情報連絡員報告によると、東日本大震災を境に一転して悪化した各種調査項目は、さらに落ち込む結果となった。製造業の売上高 DI 値はマイナス 20 ポイント近く数値が悪化したのをはじめ、製造業では収益状況、業界の景況などが大幅に落ち込むなど、製造業への震災の影響が顕著となっている。具体的な連絡員からの報告によると、震災発生後の混乱は収まりつつあるものの、消費低迷が深刻化する一方、原材料の高騰が一層進んでいる実態が報告されている。

【製造業62人、非製造業、88人、計150人の集計】

前年同月比 のDI値	全産業	製造業	非製造業
	前年同月比	前年同月比	前年同月比
売上高	 -57.3	 -61.3	 -54.5
在庫数量	 -12.7	 -19.4	 -6.3
販売価格	 -18.7	 -17.7	 -19.3
取引条件	 -27.3	 -25.8	 -28.4
収益状況	 -60.7	 -66.1	 -56.8
資金繰り	 -41.3	 -43.5	 -39.8
設備操業度	 -45.2	 -45.2	—
雇用人員	 -20.0	 -16.1	 -22.7
業界の景況	 -63.3	 -59.7	 -65.9

※DI(Diffusion Index)値とは、景気の動きをとらえるための指標です。(−100≤DI値≤100)

DIの計算方法…増加・好転と答えた企業の割合−減少・悪化と答えた企業の割合

【例:調査数「20」のうち好転が「4」、不変が「6」、悪化が「10」とした場合…(4−10)/20×100=−30】



30以上



10以上  
30未満



−10以上  
10未満



−30以上  
−10未満



−50以上  
−30未満



−51以下

平成23年  
4月

# 業 界 の 声

製 造 業		
集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
食料品	中華麺製造業	原材料価格の上昇を価格転嫁できない中で、売上数量そのものが減少するという状況にある。
	製粉業	製粉業界は長時間操業であるため、節電対応には苦心させられている。
繊維・同製品	ネクタイ製造業	節電対策によりクールビズの実施期間が長期化することが予想され、今後のネクタイの売上見込みは非常に厳しい。
	帽子製造業	大震災の影響はさほど感じられず、西日本での売上は好調であった。
	帆布製品製造業	前年比で売上は激減している。大震災の自粛ムードの広まりからイベント等の中止が相次ぎ、テントシート等の売上に大きな影響を及ぼしている。
	洋服製造業	大震災の影響からアパレルメーカーが廉価品以外の売上は伸びないと判断したため、受注量は減少した。また、福島第一原発周辺地域で製造された製品が風評被害により納入できない事案も発生した。
木材・木製品	建具製造業	大震災の被災地で、合板等の資材の需要が増大しており、品不足が発生している。仕事量については増加傾向にあるものの、収益にはつながっていない。
紙・紙加工品	紙製品製造業	大震災後の物流停止や計画停電、東北にある工場の被災等による影響は現在に至っても続いている。
印刷	印刷加工業	受注量は徐々に減少しつつある。
	印刷業	大震災以降、受注の減少が続いている。また、今夏に予想される電力供給不足に対応するため、全国団体と協力して行動計画を作成し、組合員への周知を図っている。
化学ゴム	プラスチック製品製造業	ゴールデンウィーク向けの駆け込み需要や、防災関連商品の需要の高まりから、売上は若干増加した。ただし、石油や原材料の価格高騰が懸念材料である。
	ゴム製品製造業	自動車産業が大震災の影響を払拭できていない。このため自動車関連部品を製造している組合員の売上が減少している。
窯業・土石製品	コンクリート製品製造業	計画停電による操業停止等の影響を受けた組合員がある一方、受注が増加した組合員もある模様。
	砕石製造業	計画停電をはじめ大震災の具体的な影響はなかった。
鉄鋼・金属	缶製造業	大震災の影響による売上減少が顕著である。今後の回復を期待している。 大震災後の資材不足や計画停電の影響で生産活動が停滞したため、景況は悪化した。
	ダイカスト製品製造業	大震災の影響により、生産活動が低下している。特に自動車関連部品の生産は通常の6割程度にとどまっており、リーマンショック時よりも厳しい状況となっている。
	鋳物製造業	新年度に入り、業種によっては多少、仕事量は増加しているが、経営実態は依然として厳しい。
	鍍金加工業	自動車関連の受注が大幅に減少している。原材料価格と人件費が高騰している。
	金属熱処理業	大震災で混乱した生産体制も現在では、ほぼ正常に戻っている。しかしながら、受注量は大幅に減少している。
	建築金物製造業	大震災被災地の仮設住宅向けの動きがある一方、一般住宅の着工の遅れの影響が懸念される。
	金庫製造業	大震災で壊れた金庫の開扉依頼が増えている。
電気機器	配電盤製造業	大震災の影響による部品の調達難が続いている。
輸送用機器	自動車部品製造業	原発事故による避難区域内の部品メーカーからの納入がストップしている。4月の売上高は従来の40%程度となっている。
一般機械	写真製版機材製造業	大震災後、印刷業界全体で状況は悪化している。

一般機械	木工機械製造業	大震災前の商談がようやく具体化してきた。また、被災地域では中古木工機械を中心とした取引が活発になっている。
その他の製造	スポーツ用品製造業	アウトドア関連では、登山を趣味とする女性「山ガール」が牽引役となり、消費者層が若返りつつある。
	貴金属工芸品製造業	貴金属等の価格が高騰して売上が伸び悩む中で、大震災がさらなる売上不振を招くことを懸念している。
	ガス圧接業	大震災後混乱していた状況がようやく収束しつつある。
	電動式遊技機製造業	下請けの部品メーカーが、大震災で被災したため、部品調達に支障をきたしている。
	ネームプレート製造業	大震災後、顔料や溶剤等、資材の不足と値上がりが続いている。

非 製 造 業		
集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
卸 売	ニット製品卸売業	原発事故にともなう風評により、被災地域の製品の受け取り拒否やキャンセルが発生している。
	理容用品卸売業	大震災後に延期されていた各種イベントが再開され始め、販促活動は正常に戻りつつある。
	美容用品卸売業	大震災後の消費意欲の減退が全国に蔓延することを懸念している。全国展開している販売店は東北地区よりも関西地区の売上減少を危惧している。
	食肉卸売業	大震災以降、業務用を中心に食肉の売上は急減している。
	青果卸売業	仕入価格は前年比の7割程度に下がっている。
	紙卸売業	大震災後、印刷用紙が不足したため、組合ブランドの印刷用紙を適正価格で販売することができた。しかし、ユーザーである印刷・出版業者の状況は厳しい。
	電設資材卸売業	大震災の影響による商品不足が、売上減少の要因となっている。
	玩具卸売業	大震災では多くの玩具店が被災し売上に大きな影響が現れているほか、花見等のイベント自粛により、露天商が扱う安価な玩具の売上も見込めない状況となっている。
	木材卸売業	大震災の被災地向けの合板需要が急増している。このため資材の調達ができず、工事が遅延している。
	電線卸売業	大震災の復興用に使用されるため不足していた電線の供給不足がやや緩和された。
	再生資源卸売業	再生資源の市況には大震災の影響はさほど現れていない。ただし金属、古紙とも先々価格が変動することが予想される。
	食器卸売業	大震災以降の売上不振がまだ回復していない。
小 売	木材小売業	大震災の影響で木材の入荷が止まり、売上は落ち込んだが、品不足から製品価格は上昇傾向にある。
	鶏肉・鶏卵小売業	大震災後、売上状況は10～20%悪化している。東北地域からの入荷が激減し、仕入価格は高騰。収益率も悪化している。
	米穀小売業	量販店の安売りに追従せず、対面販売の利点を生かして付加価値米の売上を伸ばしている組合員も多い。反面、年間多くの廃業組合員が発生しているのが実態である。大震災と原発事故に関係して仕入価格が大幅に上昇している。
	自動二輪車小売業	上部団体である全国組合は国の要請を受け、大震災被災地で二輪車を使用した物資輸送等の様々な活動を行った。四輪車の入れない悪路でも機動力を発揮した二輪車の有用性を示すことができた。
	豆腐小売業	脱退組合員の再加入計画を進めている。
	包装材料小売業	大震災後から、紙器、化成品とも包装材料の生産が伸び悩んでいる。現在は在庫で対応している状況である。
	電器製品小売業	大震災の影響で一般家電品の需要は低迷している。また、節電気運の盛り上がりから、太陽光発電やLED照明の需要が高まることが予想される。組合員にとって商品知識の習得や品揃えの確保といった対応が必要となっている。

小 売	自転車小売業	大震災後、自転車売上は急激に増加し、供給が間に合わない状況にある。
	中古自動車小売業	大震災発生後、3月の売上は減少していたが、4月に入り一転して被災地での中古車需要の増加から、売上状況は好転している。しかしながら、在庫不足が日を迫るごとに深刻化している。
	古書籍小売業	大震災後、事業の運営面で混乱をきたしたが、現在では落ち着きを取り戻しつつある。
	衣料品小売業	衣料品の売上は大きく減少。大震災の影響により消費意欲が減退していると思われる。
	化粧品小売業	大震災後、客数の減少が続いている。
	文具小売業	大震災の影響による商品納入の遅延が発生している。
	食品小売業	大震災直後は食品・飲料水等の売上が伸びたが、需要の先取りとなった結果、4月の売上は低調だった。
	酒小売業	大震災による、お花見等、春のイベントの自粛のあおりを受け、酒類の売上は減少している。
	塗料小売業	大震災の影響により生産・流通の流れが寸断しており、一部商品の調達・供給が困難となっている。
	青果小売業	原発事故による風評被害が波及し、野菜類の売上が減少している。
商店街	銀座	組合員の支店が大震災で被災した事例がある。銀座通りのLED照明の街灯が暗いとのクレームが多数寄せられている。
	目黒	大震災による、売り出しイベント等の自粛が売上に影響を及ぼしている。
	赤坂	大震災後、飲食店の来客は激減している。
	秋葉原	大震災以降中止されていた歩行者天国が4月17日に再開された。しかしながら人出は期待したほど伸びなかった。節電の関係で街全体が暗いイメージとなっている。
	合羽橋	大震災後、客数は減少し、売上は落ち込んでいる。
サービス	クリーニング業	繁忙期に入り、かなりの需要があった。ただし、今後の節電対策でクールビズが進展しカジュアル服での勤務が増えてワイシャツ等の需要が減少することを危惧している。
	飲食業	大震災後、予約のキャンセルが相次いだ。現在に至っても客足は激減している。
	公衆浴場業	大震災の影響により、本年度の入浴料金の改定作業が遅れている。
	廃棄物処理業	業者間の競争により、廃棄物処理価格が若干低下している。
	複写業	今夏に計画停電が実施された場合、生産効率が大幅に低下するため、売上予測の下方修正を行っている。
運 輸	貨物自動車運送業	荷動きが少なく、運送効率が悪くなっている。車両30台程度の中規模企業の経営が苦しくなっている。前年度の脱退組合員は6社に達した。
	港湾運送業	輸出用コンテナについては放射線量を計測し、問題がない旨を記した証明書の発行を荷主に求められている。
	内装工事業	大震災後、仕事のキャンセルや延期が急増した。現在でも回復のめどが立たない。
	管工事業	大震災後に建設資材の品不足と価格高騰が続いている。

## ✓ 行政庁・中央会に対する主な要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	主な要望事項
木材・木製品	木材製造業	大震災の復興は最優先事項ではあるが、国全体の景気対策も必要であるとともに、増税は是非とも回避していただきたい。
雑業・土石製品	コンクリート製品製造業	震災復興のため、被災地にコンクリート製品の輸送が円滑に行えるよう体制を整えていただきたい。
鉄鋼・金属	鍍金加工業	計画停電だけでは何としても回避していただきたい。
サービス	複写業	企業としては全力で節電に取り組む意向であるが、停電の実施だけは避けてほしい。